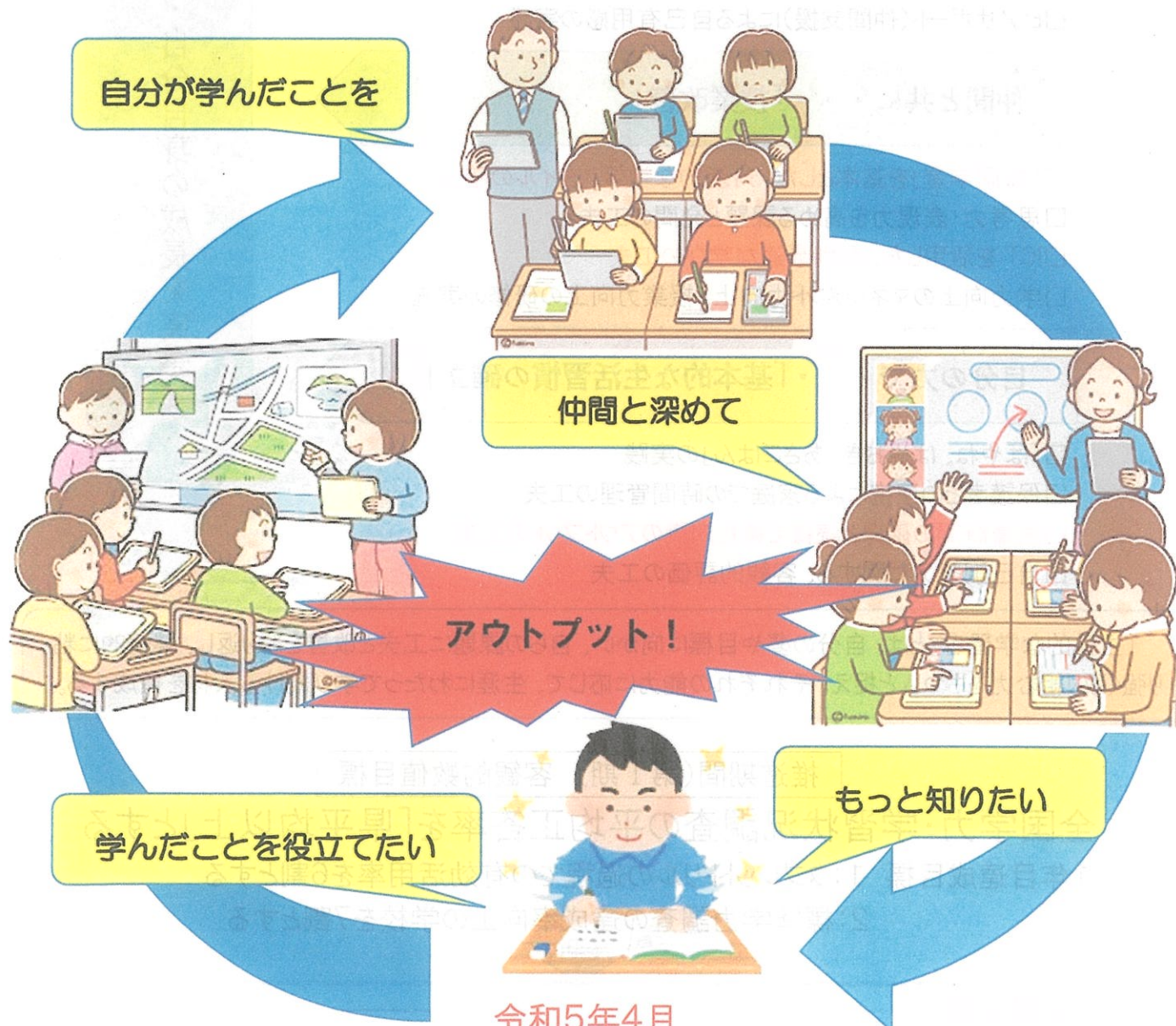


推進期間(第1期):令和4年度～令和6年度

石巻市学力向上プラン

～ 一人一人が 仲間と共に 自分の力で 一步前進 ～

「誰一人取り残さない」をキーワードに、生涯に渡って学び続ける「主体的な学習者」を育成します。
推進期間2年目は、「知識のアウトプット」を意識した活動を設定し、主体性を育てます。



令和5年4月

石巻市教育委員会

目指す主体的な学習者の姿

推進2年目は赤字が重点！

- ◇自分の考えをもち、自分の言葉で表現できる
- ◇学んだことを、他者のために使おうとする
- ◇自分で時間の管理ができる

一人一人が・・・「学習意欲の向上」

- 年2回の標準学力検査結果の自己分析
- タブレットドリルを活用した自己課題克服
- スモールステップで「できた」という達成感の実感
- 「MLA」の実践による、学びの土台作り
- ピアサポート(仲間支援)による自己有用感の実感

仲間と共に・・・「授業改善」

- 「協同学習」を基本とした、対話的な学習スタイルの確立
- 思考力・表現力を高める課題と発問の工夫
- ICTを活用した、個別最適な学びの工夫
- 学力向上のマネジメント力向上、授業力向上の研修の実施

自分の力で・・・「基本的な生活習慣の確立」

- 「はやね、はやおき、あさごはん」の実践
- 保護者との連携による家庭での時間管理の工夫
- 読書時間の確保と読書で得た知識のアウトプットの工夫
- 自己調整力に関する、客観的評価の工夫

一歩前進・・・
自分自身の成長を実感

「主体的な学習者」とは、自分の夢や目標に向かい、自らの課題に工夫と改善を繰り返し、継続的に粘り強く取り組む力をもつ人と捉え、それぞれの能力に応じて、生涯にわたって学び続ける人材を育成する。

推進期間(第I期) 客観的数値目標

全国学力・学習状況調査の平均正答率を「県平均以上」とする

- 1年目達成目標
- 1:タブレットドリルの過程での有効活用率を6割とする
 - 2:標準学力調査の達成率向上の学校を7割とする

2年目目標

- 1:児童生徒の7割が、標準学力調査達成率が向上できるようにする
- 2:児童生徒の7割が、読書した内容をアウトプットできるようにする

目次

令和4年度の石巻市児童生徒の現状と課題・令和5年度の方向性

1	全国学力・学習状況調査の結果から見た学力の状況	1
2	児童生徒質問紙調査に関して	2
3	令和4年度標準学力調査から見た学力の状況	3
4	課題の焦点化	5
5	課題の取組の重点	5

令和4年度の石巻市児童生徒の現状と課題・令和5年度の方角性

1 全国学力・学習状況調査の結果から見た学力の状況

全国学力・学習状況調査平均正答率・正答数（県正答率は、仙台市を除く）

国語

校種	年度	正答率			全国比	問題数	正答数		全国比
		全国	県	石巻			全国	石巻	
小学校	R3	65	62	60	-5	14	9.1	8.4	-0.7
	R4	66	62	62	-4	14	9.2	8.7	-0.5
	前回比	1	0	2	1		0.1	0.3	
中学校	R3	65	63	63	-2	14	9.1	8.8	-0.3
	R4	69	68	66	-3	14	9.7	9.3	-0.4
	前回比	4	5	3	-1		0.6	0.5	

算数・数学

校種	年度	正答率			全国比	問題数	正答数		全国比
		全国	県	石巻			全国	石巻	
小学校	R3	70	66	64	-6	16	11.3	10.2	-1.1
	R4	63	58	57	-6	16	10.1	9.2	-0.9
	前回比	-7	-8	-7	0		-1.2	-1.0	
中学校	R3	57	52	50	-7	16	9.2	8.0	-1.2
	R4	51	45	44	-7	14	7.2	6.2	-1.0
	前回比	-6	-7	-6	0		-0.5	-0.3	

校種	観点	国語		算数・数学	
		評価	特徴	評価	特徴
小学校	知識及び技能	○	無回答率低		
	思考・判断・表現	▼	書くこと・読むこと	▼	全国との乖離【大-7.4P】
	記述式			▼	全国との乖離【大-8.7P】
	選択式	▼	全国との乖離【大-5.1P】		
	短答式				
中学校	知識及び技能	○	言語文化	▼	全国との乖離【大-8P】
	思考・判断・表現				
	記述式			○	全国との乖離・無回答【少】
	選択式				
	短答式				
	領域別			▼	数と式・関数(2)の無回答

本市の児童生徒は、小学校国語正答率が宮城県正答率と並んだことを除いては、全国学力・学習状況調査における平均正答率は全国平均や県平均を下回る状況が続いています。令和4年度は、令和3年度同様、国語以上に算数・数学の力が身に付いていないと考えられます。問題数を見ると1問前後の正答数の差になりますが、(1)算数・数学では、「思考・判断・表現」や「記述式」において、小学校段階で既に乖離が大きく、中学校でも改善が見られないことから、小学校低学年からのつまずき解消の必要性を感じます。

2 児童生徒質問紙調査に関して

令和4年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査より

質問項目	年度	小学校				中学校			
		全国	県	石巻市	全国との差	全国	県	石巻市	全国との差
① 将来の夢や目標を持っている。	R 3	80.3	80.0	82.4	+2.1	68.6	69.6	68.7	+0.1
	R 4	79.8	79.1	81.8	+2.0	67.3	68.7	70.1	+2.8
② 人の役に立つ人間になりたいと思う。	R 3	95.5	95.6	96.2	+0.7	95.0	94.9	95.3	+0.3
	R 4	95.1	93.8	95.8	+0.7	95.0	94.9	95.1	+0.1
③ 課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいる。	R 3	63.5	65.5	70.8	+7.3	62.0	65.8	64.3	+2.3
	R 4	77.3	77.9	80.1	+2.8	79.2	80.8	83.8	+4.6
④ 学校に行くのは楽しいと思う。	R 3	83.4	84.7	85.1	+1.7	81.1	80.0	73.1	-8.0
	R 4	85.4	85.9	86.4	+1.0	82.9	83.0	81.3	-1.6
⑤ 朝食を毎日食べているか	R 3	94.9	95.8	94.7	-0.2	92.8	94.0	93.1	+0.3
	R 4	94.4	95.3	95.3	+0.9	91.9	93.2	91.5	-0.4
⑥ 毎日同じくらいの時刻に寝ているか	R 3	81.2	83.1	82.2	+1.0	79.8	83.6	79.5	-0.3
	R 4	81.5	84.0	81.7	+0.2	79.9	83.2	80.1	+0.2
⑦ 毎日同じくらいの時刻に起きているか	R 3	90.4	90.8	91.8	+1.4	92.7	94.1	94.1	+1.4
	R 4	90.4	90.2	89.5	-0.9	92.2	93.4	92.6	+0.4
⑧ 平日、1日当たり3時間以上ゲームをする。	R 3	29.0	30.3	34.6	+5.6	32.3	29.6	41.3	+9.0
	R 4	30.7	30.8	34.3	+3.6	29.8	27.1	32.2	+2.4
⑨ 平日どれくらい勉強をするか。 小：1時間以上、中：2時間以上	R 3	62.5	62.0	65.5	+3.0	41.8	35.7	33.2	-8.6
	R 4	59.4	58.4	62.8	+3.4	35.2	31.0	27.9	-7.3
⑩ 平日、1日当たりどれくらい読書をするか。 小：30分以上、中：30分以上	R 3	37.4	36.1	37.2	-0.2	28.9	29.5	31.5	+2.6
	R 4	36.4	35.0	31.5	-4.9	27.3	27.9	25.1	-2.2
⑪ 解答を文章で書く問題について最後まで書こうと努力した。	R 3	81.3	78.9	77.0	-4.3	73.7	72.5	69.3	-4.4
	R 4	78.0	73.7	78.4	+0.4	77.3	77.9	77.1	-0.2
⑫ 解答を言葉や数、式を使って説明する問題について最後まで書こうと努力した。	R 3	79.9	76.5	73.4	-6.5	57.8	54.6	48.6	-9.2
	R 4	82.3	78.4	80.5	-1.8	53.4	50.6	47.3	-6.1
⑬ 国語の調査問題の解答時間は十分だった。	R 3	70.3	74.5	75.0	+4.7	75.3	74.2	68.4	-6.9
	R 4	66.0	70.8	65.4	-0.6	84.9	86.3	84.2	-0.7
⑭ 算数(数学)の調査問題の解答時間は十分だった。	R 3	81.7	82.5	78.9	-2.8	80.5	79.4	75.0	-5.5
	R 4	83.4	83.9	77.3	-6.1	71.0	71.1	71.5	+0.5

全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査から、表①～③では、肯定的な回答が特に中学校で増加しており、「石巻未来づくり事業」「石巻市わくわくプラン事業」の成果が見られます。一方で、表⑪～⑭からは、解答時間の不足を感じる児童が増加したり、数学では最後まで粘り強く取り組むことができない生徒が増加したりする傾向があることが分かりました。加えて表④から、本市では中学生になると「学校に行くのが楽しい」と回答する生徒が令和3年度よりも改善が見られたものの、全国平均を下回ること、表⑧～⑩から、(2)ゲーム、学習、読書等に関して、家庭での過ごし方にも課題があることが分かります。

3 令和4年度標準学力調査から見た学力の状況

達成率一覧（単位％）

学年	月	国語達成率			算数・数学達成率		
		石巻市	全国	比較	石巻	全国	比較
小1	4月	-	-	-	-	-	-
(3)	12月	57.7	63.3	-5.6	66.2	70.4	-4.2
小2	4月	65.8	72.9	-7.1	62.0	73.9	-11.9
	12月	64.3	72.6	-8.3	49.9	60.0	-10.1
小3	4月	60.6	66.2	-5.6	62.3	71.9	-9.6
	12月	58.5	66.8	-8.3	60.8	64.2	-3.4
小4	4月	55.8	60.7	-4.9	59.7	69.9	-10.2
	12月	61.8	62.0	-0.2	50.7	57.5	-6.8
小5	4月	60.9	69.8	-8.9	48.3	58.6	-10.3
	12月	68.6	71.4	-2.8	50.2	56.8	-6.6
小6	4月	53.3	60.0	-6.7	52.3	62.5	-10.2
	12月	59.4	74.1	-14.7	47.2	69.7	-22.5
中1	4月	54.0	58.9	-4.9	58.8	69.1	-10.3
	12月	56.1	61.4	-5.3	41.5	53.3	-11.8
中2	4月	63.2	68.6	-5.4	43.3	56.1	-12.8
	12月	63.1	63.8	-0.7	36.7	52.5	-15.8
中3	4月	62.4	68.8	-6.4	44.9	50.5	-5.6
	12月	69.5	73.2	-3.7	55.9	61.1	-5.2

標準学力調査達成率向上の学校数（令和4年4月と12月の比較）

学年	国語達成率				算数・数学達成率			
	△		▼		△		▼	
小2	18校	56.2%	14校	43.8%	8校	25%	24校	75%
小3	13校	41.9%	18校	58.1%	15校	48.4%	16校	51.6%
小4	24校	77.4%	7校	22.6%	11校	35.5%	20校	64.5%
小5	26校	81.3%	6校	18.7%	18校	56.3%	14校	43.8%
小6	25校	75.8%	8校	24.2%	16校	48.5%	17校	51.5%
中1	11校	64.7%	6校	35.3%	2校	11.8%	15校	88.2%
中2	10校	55.6%	8校	44.4%	5校	27.8%	13校	72.2%
中3	14校	77.8%	4校	22.2%	16校	88.9%	2校	11.1%
平均	66.34%				42.78%			

(4)

達成率が全国・石巻市平均以上の学校数表

学年	月	国語			算数・数学		
		全国平均以上	市平均以上 全国平均未満	市平均未満	全国平均以上	市平均以上 全国平均未満	市平均未満
小1	4月	-	-	-	-	-	-
	12月	14校 45.1%	6校 19.4%	11校 35.5%	13校 41.9%	6校 19.4%	12校 38.7%
小2	4月	8校 25%	5校 15.6%	19校 59.4%	4校 12.5%	9校 28.1%	19校 59.4%
	12月	10校 31.3%	5校 15.6%	17校 53.1%	9校 28.1%	7校 21.9%	16校 50%
小3	4月	9校 29%	6校 19.4%	16校 51.6%	5校 16.1%	10校 32.3%	16校 51.6%
	12月	9校 29%	7校 22.6%	15校 48.4%	12校 38.7%	4校 12.9%	15校 48.4%
小4	4月	10校 32.2%	2校 6.5%	19校 61.3%	6校 19.4%	9校 29%	16校 51.6%
	12月	14校 46.7%	0校 0%	16校 53.3%	10校 33.4%	4校 13.3%	16校 53.3%
小5	4月	8校 25%	3校 9.4%	21校 65.6%	9校 28.1%	8校 25%	15校 46.9%
	12月	11校 34.4%	2校 6.2%	19校 59.4%	11校 34.4%	3校 9.4%	18校 56.2%
小6	4月	13校 39.4%	3校 9.1%	17校 51.5%	11校 33.3%	5校 15.2%	17校 51.5%
	12月	6校 18.2%	11校 33.3%	16校 45.5%	6校 18.2%	13校 39.4%	14校 42.4%
中1	4月	5校 29.4%	4校 23.5%	8校 47.1%	3校 17.6%	6校 35.3%	8校 47.1%
	12月	6校 35.3%	3校 17.6%	8校 47.1%	6校 35.3%	2校 11.8%	9校 52.9%
中2	4月	2校 11.1%	3校 16.7%	13校 72.2%	1校 5.6%	6校 33.3%	11校 61.1%
	12月	6校 35.3%	1校 5.9%	10校 58.8%	1校 5.9%	5校 29.4%	11校 64.7%
中3	4月	2校 11.1%	7校 38.9%	9校 50%	3校 16.7%	8校 44.4%	7校 38.9%
	12月	6校 33.3%	1校 5.6%	11校 61.1%	4校 22.2%	5校 27.8%	9校 50%

令和4年度から、市内全小中学校で国語と算数・数学の標準学力調査を年2回実施し、児童生徒の学力の実態を把握しました。達成率一覧の黄色部分は4月に比べ達成率が向上したところ、太字部分は全国との差が減少したところになります。

(4)令和4年度の達成率向上の学校は国語66.34%、算数・数学42.78%で1年目の達成目標2を達成することができませんでしたが、全国平均以上の学校数は少しずつ増えております。各校で標準学力調査の結果分析をもとに、家庭と連携し、つまずき解消に取り組んだ成果が表れています。

4 課題の焦点化

令和4年度「全国学力・学習状況調査」「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」「標準学力調査」から、石巻市の児童・生徒の学力の課題を以下のようにまとめました。

- (1) 算数・数学では、「思考・判断・表現」や「記述式」において、小学校段階で既に乖離が大きい
→考える、自分の考えたことをアウトプットする時間が少ない
- (2) ゲーム時間長い、学習時間短い、読書量少ない等、家庭での過ごし方にも課題がある
→時間管理や学習計画を立てる、本を読む習慣が身に付いていない
- (3) 小学校1年生の段階で、全国平均達成率との乖離が約5ポイントあり、市の平均達成率に及ばない学校も、約3分の1ある。
→小学校1年生時点をつまずきが見られる。
- (4) 令和4年度の達成率向上の学校は国語66.34%、算数・数学42.78%
→1年目の達成目標2「標準学力調査の達成率向上の学校を7割とする」は達成できず。

そこで、令和5年度は



知識のアウトプット「充実期」(今年度)

学んだことを他者に伝えたり、自分の知識が誰かの役に立つ機会を意図的に設定したりすることで、自己有用感を向上させ、更に主体性を発揮させる。

5 課題の取組の重点

焦点化した課題の解決のために、以下のことに取り組んでいきます。

一人一人が・・・「学習意欲の向上」

① 活かそう！ワンランクアップシート！

一人一人の成長を可視化で、意欲向上

仲間と共に・・・「授業改善」

② NO、一方通行の授業！YES、つまずき解消！

考える・アウトプットする時間を確保した授業、個のPDCAサイクル作成、つまずき解消時間の確保

自分の力で・・・「基本的な生活習慣の確立」

③ がっちり！家庭とスクラム！進め！幼保小連携！

学力調査の結果分析をもとに学習・生活習慣の改善と共有、家庭を巻き込んだ読書後のアウトプット、幼児期からの読み聞かせで1年生のつまずき防止

